

学校給食(提供食)の放射性物質検査の結果について

検査方法

- ・ 学校給食で実際に児童生徒に提供した給食1食分を1週間ごとまとめて測定する。
- ・ 検体は毎日、小学校A1・中学校Aから採取を基本とする。

検査結果

<小学校>

提供期間(日数)	合計重量(kg)	検査日	検査値	
			放射性セシウム134	放射性セシウム137
令和7年7月3日～7月10日 (6日分)	3.30	7月10日	不検出 (<0.67)	不検出 (<0.55)

小学校A1 献立名

7月3日	ごはん 牛乳	きのこわかめのスープ、オムレツ、夏野菜のドライカレー
7月4日	ごはん 牛乳	庄内ふのみそ汁、あじフライソースかけ、華風ひたし
7月7日	ごはん 牛乳	細竹汁、たこメンチ、野菜の磯香あえ
7月8日	やまこめもちりパン 牛乳	野菜スープ、フランクフルトソーセージ、マカロニナポリタン
7月9日	ごはん 牛乳	じゃがいものみそ汁、ささみカツ、なすの炒め煮
7月10日	菜めし 牛乳	酸辣湯(サンラータン)、肉だんご(2個)、オクラ入りおひたし

<中学校>

提供期間(日数)	合計重量(kg)	検査日	検査値	
			放射性セシウム134	放射性セシウム137
令和7年7月3日～7月10日 (6日分)	3.30	7月10日	不検出 (<0.60)	不検出 (<0.58)

中学校A 献立名

7月3日	ゆかりごはん 牛乳	わかめ入り豆腐スープ、星のコロッケ、天の川サラダ
7月4日	やまこめもちりパン 牛乳	野菜スープ、チーズチキンのオープン焼き、ラトウイユ
7月7日	ごはん 牛乳	豚汁、ほっけフライソースかけ、キャベツとわかめのごま酢あえ
7月8日	ごはん 牛乳	中華スープ、春巻、いかとえびのチリソース煮
7月9日	ごはん 牛乳	かきたま汁、豚肉みそ焼き、野菜のごまあえ
7月10日	ごはん 牛乳	細竹汁、あじフライソースかけ、野菜の塩昆布あえ

- 1 検査結果の()内は検出下限値です。
- 2 「不検出」とは、放射性物質が検出下限値未満であることを示します。
- 3 「検出下限値」とは、検査機器で測定できる最小の値のことです。
なお、検出下限は検体の種類や重量などの影響をうけるため、測定ごとに異なります。
- 4 検査を依頼している機関は山形県理化学分析センターです。
- 5 ゲルマニウム半導体検出器によるガンマ線スペクトロメトリーによる核種分析法です。
- 6 食材内容については、「学校給食用食材の産地情報」で公開しています。

【参考】厚生労働省:24年4月からの放射性物質の新基準値 (単位 Bq/kg)

放射性セシウム	一般食品	100
	飲料水	10
	牛乳	50
	乳児用食品	50